





線の種類	用途による用途	線の用途
太い実線	外形線	対象物の見える部分の形状を表すのに用いる。
細い実線	寸法線	寸法を記入するのに用いる。
	寸法補助線	寸法を記入するために図形から引き出すのに用いる。
	引出線	記述・記号などを示すために引き出すのに用いる。
細い破線 又は 太い破線	かくれ線	対象物の見えない部分の形状を表すのに用いる。
細い一点鎖線	中心線	図形の中心を表すのに用いる。
	基準線	特に位置決定のよりどころであることを明示するのに用いる。
	ピッチ線	繰り返し図形のピッチをとる基準になる線。
細い二点鎖線 	想像線	実際にそこにはないものを参考として表記する場合に用いる。
波形の細い実線 	破断線	対象物の一部を破った境界、又は一部を取り去った境界を表す線。
細いジグザグ線 		
細い実線で規則的に並べたもの 	ハッチング	図形の限定された特定の部分を他の部分と区別するのに用いる。 例えば壁面の模様を示す。

製図に用いる線は、JIS Z 8312:1999「製図に用いる線」に準ずる。

(引用文献 JISハンドブック 製図：日本規格協会)